

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	選択 (D・I群)
使用教材	教科書	子どもの発達と保育 (教育図書株式会社)							
	副教材								

学習目標

1. 子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する知識や技術を習得する。
2. 子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

学習方法

- ・教科書を中心に、理解度を確認しながら授業学習プリントや資料を活用し進める。
- ・施設実習を通して、保育に関する基本的な知識や技術を身につける。
- ・高大連携授業を通して専門的な内容について学ぶ。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	子どもの発達や保育について関心を持ち、意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。
②思考・判断	子どもの発達や子育て支援について、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫・創造する態度を総合的に身につけている。
③技能・表現	子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する基礎的・基本的な技能を総合的に身につけて、表現することができる。
④知識・理解	子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する基礎的・基本的な知識を総合的に身につけている。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
出席状況・提出物・実習	◎		○		
観察力・プリントの記録状況	○	○		◎	
実習状況	○	○	◎	○	作品点
発表内容・定期考査	○	◎	○	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

日頃から、子どもや保育に関する社会のニュースに関心を持つ。高大連携授業・施設実習に積極的に取り組み、進路意識を高める。レポート発表、絵本の読み聞かせなどにより、コミュニケーション能力を高め、他者の意見を聞いたり、自分の考えを表現するスキルを磨く。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	子どもの発達の特徴 ・乳幼児期の重要性 ・発達と環境 ・発達観・児童観 子どもの発達過程 ・保育の意義と目標 ・保育の方法 ・保育の環境 ・乳幼児のからだの発育 人間関係・心の発達 ◆高大連携授業 [期末考査]	1. 子どもは、さまざまな環境の影響を受けながら発達していくことを知る。 2. 子どもが保護・養育される権利をもち、尊重されるべき存在であると認識されるまでの歴史を知る。 3. 乳幼児期のからだの発育や発達、生理的特徴についても知る。 4. 愛着関係の形成過程を学び、その重要性を知る。 5. 子どもと大人のものとのとらえ方の違い、言葉の発達、コミュニケーションについて理解する。	1年間の授業目標・評価について 学習活動：保育の意義を知り、子どもの発達と環境の影響について理解する。 【評価方法】4つの観点に基づき評価する
2 学期 30単位時間	子どもの生活 ・子どもの健康と生活 ・子どもの食事 ・子どもの衣服 ・子どもの遊びと生活 ・子どもの健康管理 ・実習（読み聞かせ、玩具作り、離乳食、おやつ） 子どもの保育 施設実習 ・卒業制作 ◆高大連携授業 [期末考査]	1. 養護の必要性・目的を理解し、発達の段階に応じた養護の方法を知る。基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解する。 2. 子どもの栄養と食生活の特徴を知り、食事が生活習慣の確立や心の発達に重要な役割を持つことを理解する。 3. 子どもにとっての遊びの意義を知る。 4. 保育の方法を確認しながら、子どもと一緒に遊び、反応を確認する。	学習活動 子どもの生活と保育の方法を理解する。 施設実習を行う 絵本を創作する 【評価方法】施設実習や製作への取り組み、作品を4つの観点に基づき評価する
3 学期 18単位時間	子どもの福祉と子育て支援 ・子どもの福祉 ・子育て支援 ◆高大連携授業	1. 子どもの福祉の理念について理解する。 2. 現状を探り、これからの福祉について考える。	学習内容：子どもの福祉・高大連携授業を総括する。 【評価方法】レポート・作品・実習記録等を4つの観点に基づき評価する。